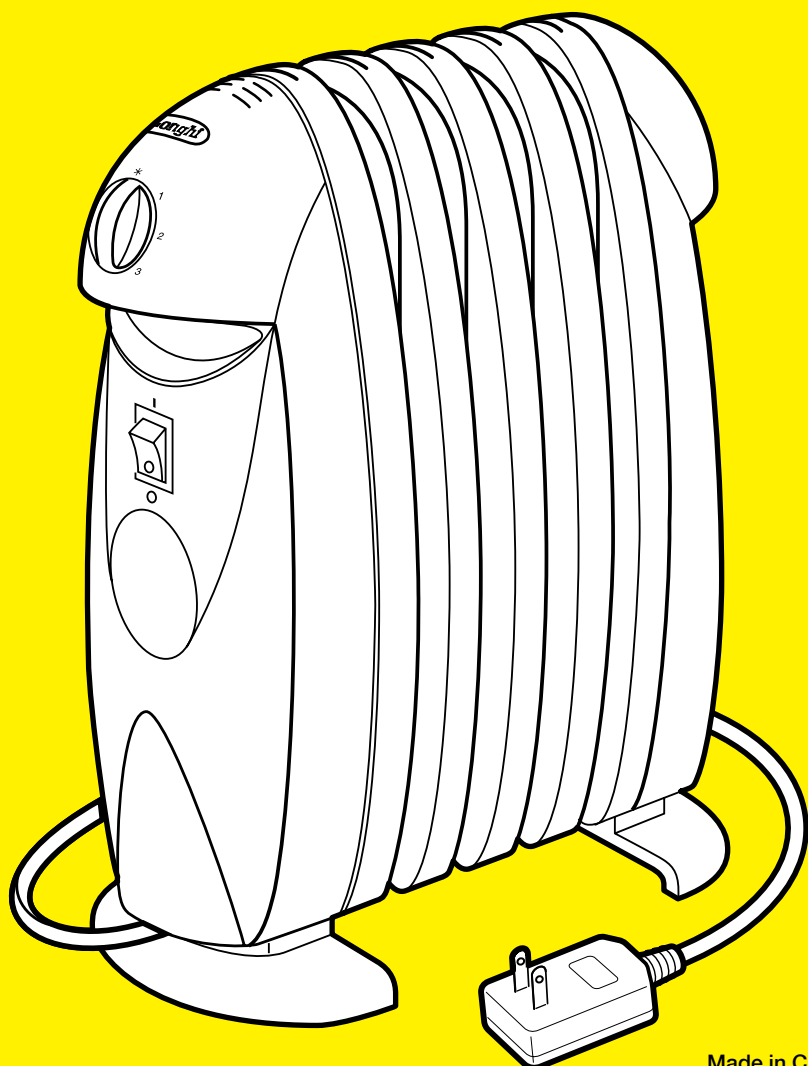
Electric Oil-Filled Heater

デロンギ
オイルヒーター

型式番号
# TRN0505JS

※本体の型式番号「TRN0505JS」の後に続くハイフンおよびアルファベットは、色番号を表すものです。

▶ 5枚フィン：L字型
▶ 500W
▶ 安全プラグ付（温度過昇防止装置内蔵）

家庭用

Made in China

# 取扱説明書
（保証書付）

この度は、デロンギヒーターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
お求めの製品を正しく安全に使用していただくため、ご使用の前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。
また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。

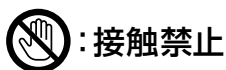
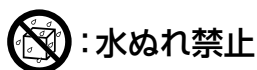
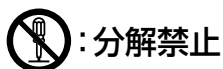
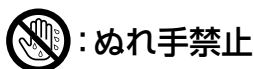
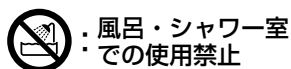
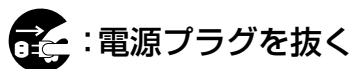
## 目次

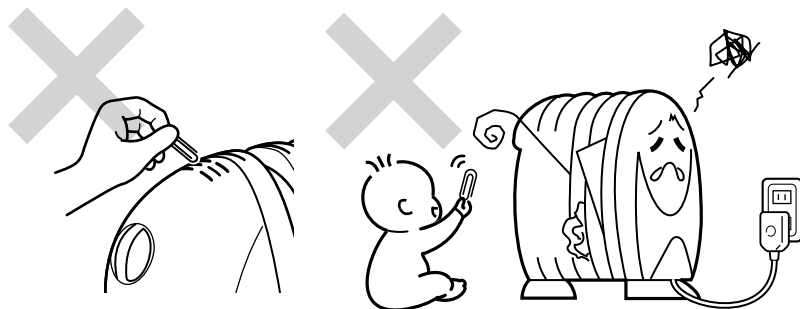
# 安全上のご注意 各注意事項を、必ずお守りください。

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の３つに分け、明示しています。

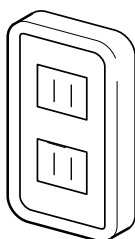
| ⚠危険 | ⚠警告 | ⚠注意 |
|---|---|---|
| この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して想定される」内容です。 | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

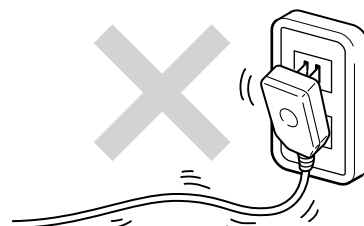
4. 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

| この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 | | | この絵表示は必ず実行していただく「強制」内容です。 |
|---|---|---|---|
| ：禁止 | ：接触禁止 | ：水ぬれ禁止 | ：指示を守る |
| ：分解禁止 | ：ぬれ手禁止 | ：風呂・シャワー室での使用禁止 | ：電源プラグを抜く |

## ⚠危険

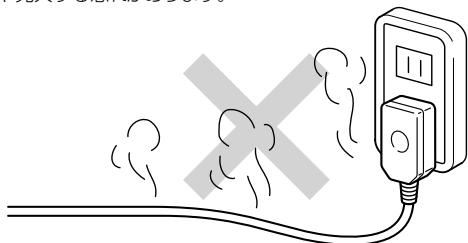
● **穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない。特に子供のいたずらに注意する**
感電やケガをすることがあります。

## ⚠警告

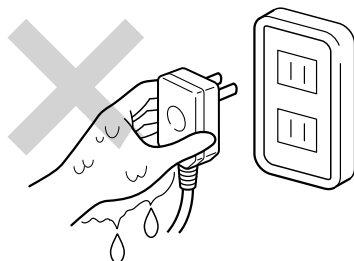
### 【電源／コンセントについて】

● **電源は交流100V（50/60Hz）で「15A 125V」と記されているコンセントからとる**

● **取付けの悪いコンセントは絶対に使わない**
取付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。

## ⚠警告

# 【電源プラグ／電源コードについて】

● 電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

ヒーターの運転中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電源スイッチで電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（14 ページ参照）に、ご相談ください。そのまま使用すると、
ショートや発火する恐れがあります。

● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

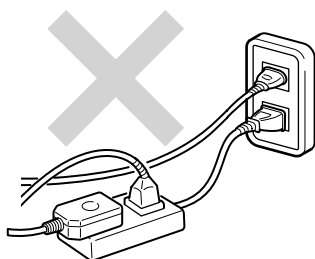
感電する恐れがあります。

● 動作中に電源プラグを抜き差ししない

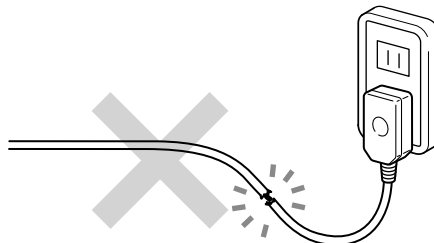
ヒーターの運転中に、電源プラグの抜き差しをしないでください。
感電・火災の原因になります。

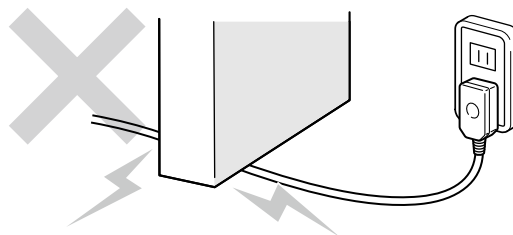
● 運転の際は、電源コードを巻きつけた状態で使用せず、すべてスタンドから解き、余っても束ねない

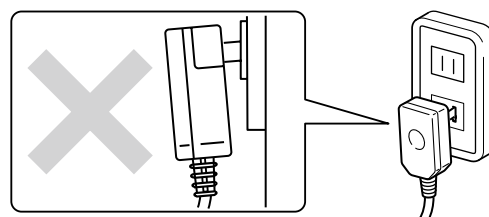
熱の逃げ場が無くなって高温になり、発火する恐れがあります。

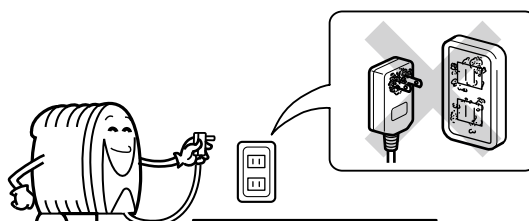
● コンセントや配線器具の定格容量を超える使い方や、交流100V 以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格容量を超えると、発熱による火災の原因になります。

● 変形・破損している電源プラグ／電源コードは絶対に使わない

感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（14 ページ参照）に、交換を依頼してください。

● 電源プラグ／電源コードを破損するようなことはしない

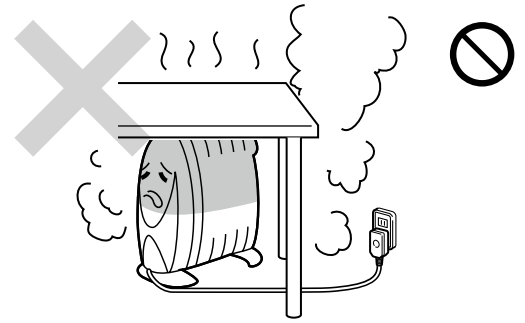
電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。

● 電源プラグは、根元までしっかりと差し込む

不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。

● 電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く

ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。

## ⚠警告

### 【設置場所について】

● **テーブルや机の下で使わない**

ヒーターの上部は、燃え易いものから約 1m 以上距離を取ってください。ヒーターの上部をふさぐと、空気の対流ができず高温となり、火災やヤケド、故障などの原因になります。また、ヒーターの熱で電源コード／電源プラグやコンセントが変形・変質し、出火する恐れがあります。

### 【使用中／使用後について】

● **逆さまや横倒し、立てかけて使わない**

火災や故障などの恐れがあり、危険です。

● **スプレー缶などを本体の近くに置かない**

スプレー缶が破裂し、火災の原因になります。

● **本製品を分解したり、改造をしない**

故障や発火の恐れがあります。ヒーター内部には難燃性のオイルが充てんされています。修理が必要な場合は、必ず、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（14 ページ参照）までご連絡ください。

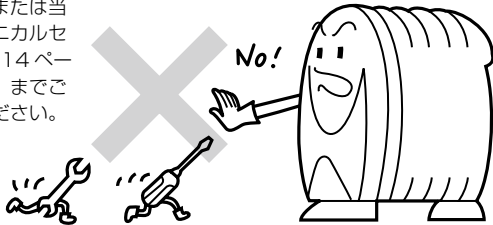
● **お子様だけでは使わせない。幼児の手の届くところで使わない**

ヤケド・感電・ケガの原因になります。

● **猫や犬など、ペットの暖房に使わない**

ペットが本体や電源プラグ／電源コードなどを傷め、発火や故障の原因になります。

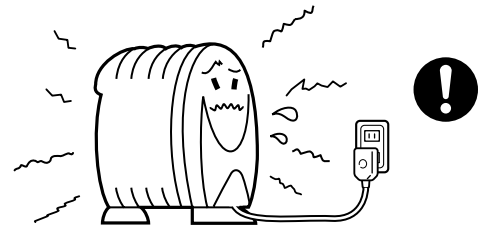
● **カーテンなど燃え易いものの近くで使用しない**

カーテンなどが本体を覆ってしまうと、過熱により火災の恐れがあります。

● **本体や通気口をタオルや毛布などで絶対に覆わない**

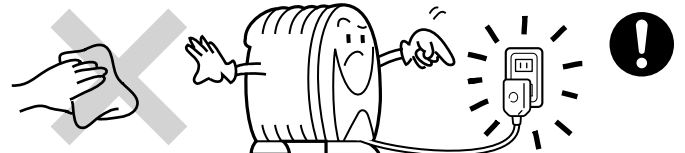
本体や通気口にタオルや毛布などをかけたり、濡れたもの（洗濯物など）の乾燥に利用しないでください。過熱により、火災や故障などの恐れがあります。

### 【運転中について】

● **異常が生じた場合は、使用を中止する**

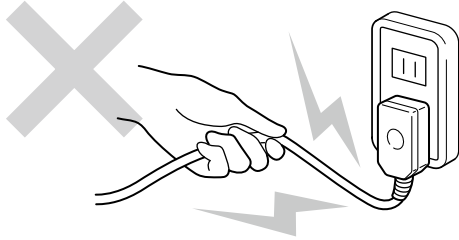
万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り（＝運転中止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（14 ページ参照）までご連絡ください。

### 【お手入れについて】

● **本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、冷えてから行う**

ヤケド・感電・ケガの原因になります。

# ⚠注意

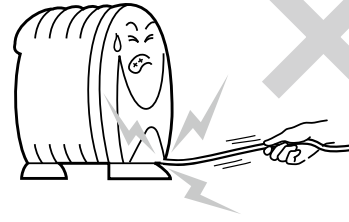
## 【電源プラグ／電源コードについて】

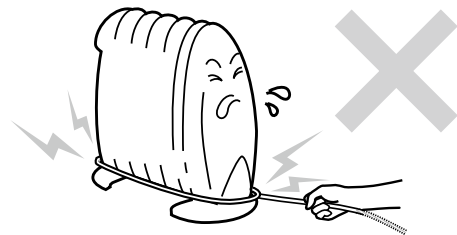
● **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く**

電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。

● **運転中は、電源コードを本体に触れさせない**

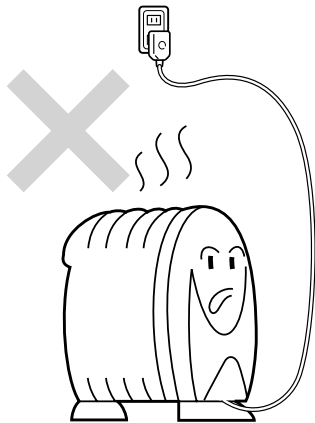
熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。

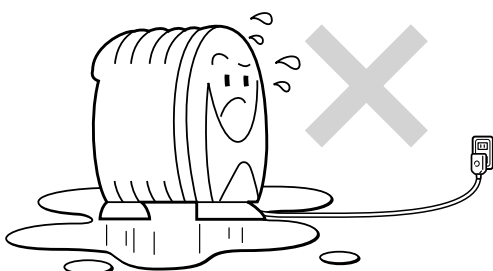
● **電源コードを引っ張らない**

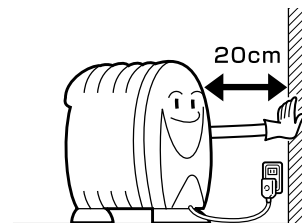
電源コードを引っ張ると、コードの接続部が傷み、感電やショートの原因になります。

● **電源コードをスタンドに強く巻きつけない**

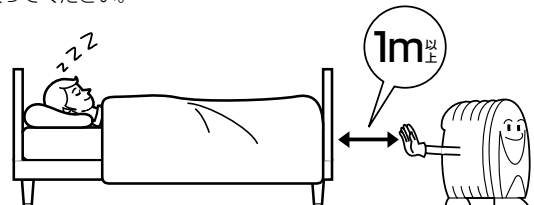
電源コードを強く巻きつけると、コードの接続部が傷み、感電やショートの原因になります。

## 【設置場所について】

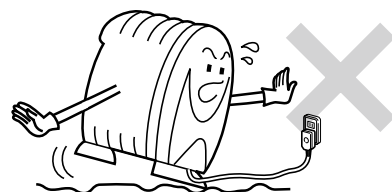
● **電源をとるコンセントのすぐ下で使わない**

暖気で電源コード／電源プラグが変形・変質し、故障などの原因になります。

● **屋外や水／湿気の多い場所（部屋）、浴室で使わない**

ショートや感電の恐れがあります。また、硫化ガスが発生する場所（温泉地の脱衣所など）や塩害の恐れがある場所で使用しないでください。故障の原因となります。

● **壁や電源をとるコンセント、カーテンなどから20cm 以上離す**

材質によっては、ヒーターの熱で変色／変質する恐れがあります。

● **人や家具などからは、1m以上離す**

オイルラジエターヒーターを寝室でご使用される場合、寝起き時の転倒事故防止、寝具への接近を考慮して約１m以上の距離を取ってください。

● **毛足の長い絨毯や凸凹のある床は避け、平らな床に置く**

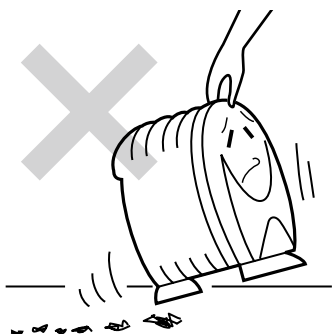
ヒーターが倒れるとケガや事故の恐れがあります。

## ⚠注意

### 【使用中／使用後について】

● **本体が転倒・落下したときには、使用せず、点検を依頼する**

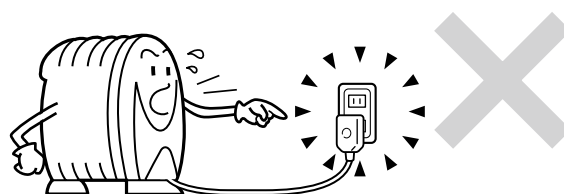
感電・火災・ケガの恐れがあります。万一、本体が転倒・落下してしまった場合は、直ちに電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（14 ページ参照）までご連絡ください。

● **ヒーターの移動は、必ず本体が冷えてから行う**

両方の取っ手に指をかけ、本体を持ち上げて移動してください。引きずると、床面や敷物を傷つけたり、スタンドが破損する場合があります。

● **小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添う**

運転中および運転していないときも、お子様がヒーターのそばにいるときは大人の方が付き添ってください。特にヒーター底部などに触れさせないようにご注意ください。

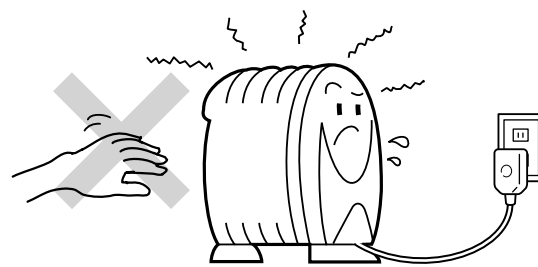
● **長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く**

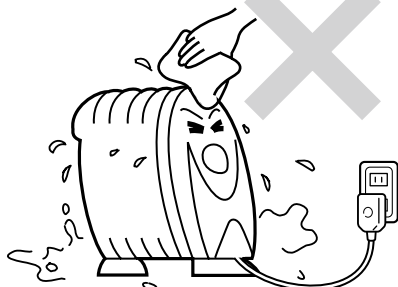
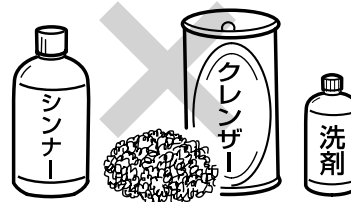
誤って、電源が入る恐れがあります。

### 【運転中について】

● **本体や操作部に水やジュースをこぼさない**

本体や操作部（電源スイッチ、サーモスタット）に、水やジュース（液体）などをこぼさないでください。万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を中止します。その後、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（14 ページ参照）までご連絡ください。

● **運転中および停止直後は、ラジエター／フィン（放熱板）に触れない**

表面温度は、最高で約 80 ～ 90℃になりますので触れないでください。ヤケドをする恐れがあります。

### 【お手入れについて】

● **絶対に水に浸したり、水洗いをしない**

● **洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは使わない**

# 知っておいていただきたいこと

**本製品の定格電流は、5A（アンペア）です。**ご家庭内で使用中の他の電気器具（複数）の定格電流との合計値が、**契約電力**（電気料金の請求書「基本契約欄」に00Aと記載）**を超えていないかどうか**確認してください。なお、定格電流の算出方法は、以下の通りです。

$$定格電流(A) = \frac{消費電力(W)}{100(V:電圧)}$$

ブレーカー（分電盤内にある回路遮断器）は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。**契約電力が不足している場合や、足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き（＝落ち）ます。**
※契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

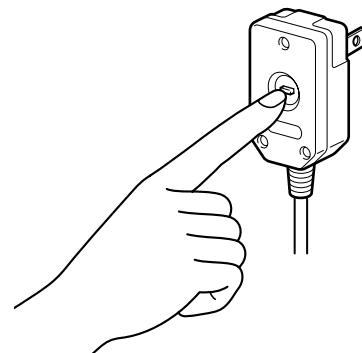
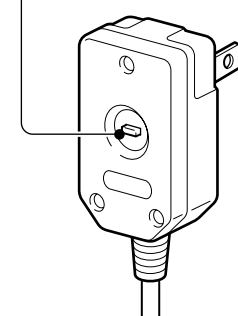
１時間当りの電気代（目安）は、暖房する部屋の諸条件（断熱および密閉性能など）により異なってきますが、おおよそ右記の通りです。（１kW/h＝22円として算出した場合）

| 電源を入れてから30分から1時間（サーモスタット最大時） | 部屋が適温に達した後サーモスタットで調節（ヒーター稼働率:60%の場合） |
|---|---|
| 約11円/時間 | 約7円/時間 |

# 《ご使用になる前に》 電源プラグをご確認ください

## 本製品の電源プラグ（安全プラグ）の特長は…

本製品の電源プラグにはコンセントの老朽化やガタツキによるプラグ部の発熱・発火事故を未然に防ぐために復帰型温度過昇防止装置が内蔵されています。
この装置は、電源プラグスイッチ周辺が異常過熱（約80℃以上）したときに作動し、本製品の電源を切ります。
ご購入時に、電源プラグスイッチが作動している場合があります。これは輸送時のコンテナ内の温度によって復帰型温度過昇防止装置が作動した結果です（故障ではありません）。
最初にご使用になる際に、ヒーターの電源スイッチ上部を押してもパイロットランプが点灯せず、ヒーターも暖かくならない場合は、電源プラグスイッチをプラグ内に指先または爪でカチッと音がするまでしっかりと押し込んでから、本製品をお使いください。

※毎シーズン、ご使用になる前には電源プラグをご確認ください。（電源プラグスイッチをプラグ内に指先または爪でカチッと音がするまでしっかりと押し込んでください。）

運転中に電源プラグスイッチが作動した場合は、電源プラグスイッチを再度押し込んでから、使用するコンセントを変えてみてください。別のコンセントでも電源プラグスイッチが作動した場合は、一時使用を止め、当社テクニカルセンター（14ページ参照）にご連絡ください。

特許第4209907号取得

# 各部の名称とはたらき

〈暖房のしくみ〉

ヒーター内部に密封した難燃性オイル（★）を下部にある棒状の電気ヒーターで温めます。温められたオイルはパネル内を循環し、L字型フィン（放熱板）で効率良く放熱、輻射熱と自然対流で室内を暖めます。　**★オイルの補充・交換は不要です。**

ラジエター水平断面図

L字型フィン

**サーモスタット**
**（ツマミ）**
室温（＝適温）の設定に使用します。設定後はヒーターの運転を自動制御し、適温を一定に保ちます。ツマミを右に回す（目盛の数字が大きくなる）ほど温度が高くなります。

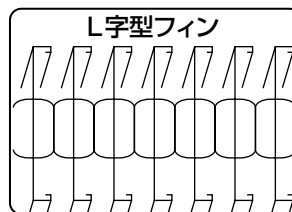
**取っ手**
本体を移動する／持ち上げるときは、必ず後部の取っ手にも指をかけてください。

**電源スイッチ**
**（500W）**
電源 { 入▶上部を押し込む。
　　　切▶下部を押し込む。

**パイロットランプ**
**（スイッチ内）**
電源を入れると点灯します。点灯時は電源が入っている(ON)状態を表わします。サーモスタットの設定により消点灯を繰り返します。

**ラジエター／フィン**

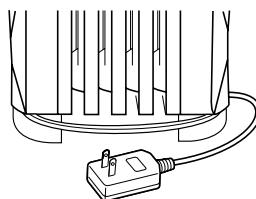
**取っ手**

**通気口**

**スタンド**

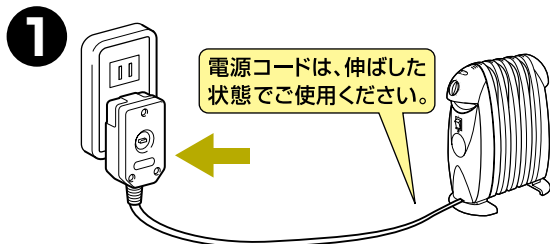
**電源プラグ**
**（安全プラグ）**
復帰型温度過昇防止装置内蔵。

**電源コード**
使用しないとき（収納・移動時など）は、前後のスタンドに巻きつけておきます。（下記参照）

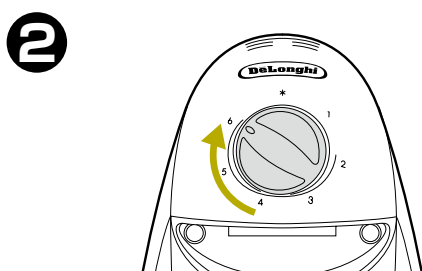
### ヒーターを移動する際のご注意

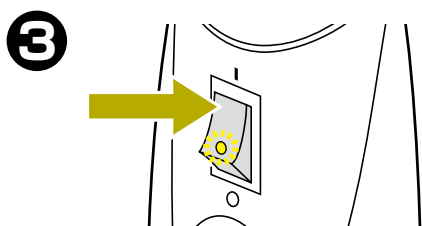
必ず、両方の取っ手に指をかけ、本体を持ち上げて移動してください。
引きずると、床面や敷物を傷つけたり、スタンドが破損する場合があります。

### 収納・移動時の電源コードの巻き方

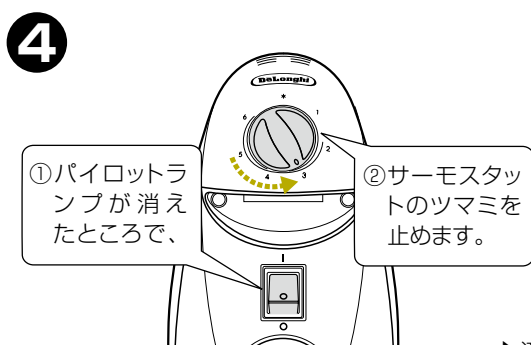
※ 暖房運転をするときは、必ず電源コードをスタンドから外し、本体に触れないようにしてください。

# 操作手順

## ❶ 電源プラグをコンセントに差し込む

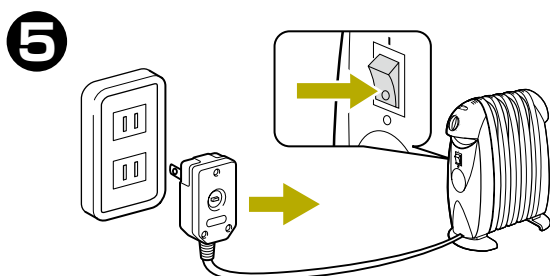
**電源プラグ**を**コンセント**に差し込みます。根元までしっかりと入れてください。また、**電源コード**は、スタンドから解き、伸ばした状態でご使用ください。

**⃠ コンセントや配線器具の定格容量を超える使い方はしないでください。**

## サーモスタットを最大にセットする

**サーモスタット**のツマミを右いっぱいに最大目盛まで回し、出力レベルを最大にセットします。

## ❸ 暖房運転を開始する（電源を入れる）

**電源スイッチ**上部を押し込みます。電源が入ると**パイロットランプ**が点灯し、暖房運転が始まります。

## ❹ サーモスタットを設定する

お望みの温度（＝**適温**）になったら、サーモスタットのツマミをゆっくりと左（反時計回り）に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。これで適温が設定され、後は自動的に電源のON／OFFを繰り返しながら適温を保ちます(→パイロットランプも消点灯を繰り返す)。

▶適温を上げるときは、右（時計回り）に回し、下げるときは左（反時計回り）に回します。

## ❺ 暖房運転を停止する（電源を切る）

電源スイッチ下部を押して電源を切り（→パイロットランプ消灯)、電源プラグをコンセントから抜きます。

**高温注意：ラジエターは、停止後もしばらくは熱いので、触れないでください。**

# 故障かな？

使用中に異常が生じた場合は、直ちに電源スイッチ下部を押して電源を切り（＝運転を中止し）、

| 症　状（状態） | 予想される原因 | 対処のしかた |
|---|---|---|
| **電源スイッチ上部を押してもパイロットランプは点灯せず、ヒーターも暖かくならない** | 電源プラグが、コンセントに差し込まれていない | 電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりとコンセントに差し込みます。 |
| | サーモスタットの出力レベルが低い | サーモスタットのツマミを、パイロットランプが点灯するまで右（時計回り）に回します。お望みの温度（適温：体感温度）になったら、ツマミをゆっくりと左（反時計回り）に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。 |
| | | サーモスタットのツマミの目盛を今より大きい数字に合わせます。 |
| | 電源プラグの復帰型温度過昇防止装置が作動している | 運転中に電源プラグスイッチが作動した場合は、一時使用を止め、当社テクニカルセンター（14 ページ参照）にご連絡ください（詳しくは 6 ページ参照）。 |
| **電源スイッチ上部を押すと、パイロットランプは点灯しないがヒーターは暖かくなる** | パイロットランプが故障している可能性あり | お求めの販売店または当社テクニカルセンター（14 ページ参照）にご連絡ください。 |
| **長時間使用しても、一度もパイロットランプが消えない** | サーモスタットが故障している可能性あり | サーモスタットのツマミを、パイロットランプが消えるまで左（反時計回り）に回してみます。止るまで回してもパイロットランプが消えない場合は、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（14 ページ参照）にご連絡ください。 |
| **使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる**（目安：約 40℃） | タコ足配線をしている | タコ足配線を止めてください。タコ足配線などで、コンセントや配線器具の定格容量を超えて使用すると、発熱による発火の恐れがあります。 |
| | 電源プラグ（栓刃）を、根元までコンセントに差し込んでいない | 電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりと差し込みます。不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。 |
| | コンセントがガタついたり、差込み口（刃受）がゆるい | お近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。 |
| | 電源プラグ／電源コードが傷付いたり、変形・破損している | お求めの販売店または当社テクニカルセンター（14 ページ参照）に、修理・交換を依頼してください。 |
| | 電源コードの上に物を置いたり、無理に曲げている | 電気の流れる道が半断状態になると、ショートや発火の恐れがあるので、絶対に止めてください。 |
| | 電源コードをスタンドから解いていない。束ねた状態で使用している | 余ったコードも、必ず伸ばした状態で使用してください。束ねると、熱の逃げ場を失って高温になり、発火の恐れがあります。 |
| | 電源プラグやコンセントに、ゴミやホコリが付着している | 定期的に、付着しているゴミやホコリを取り除いてください。 |

# 修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

**以下の点をお調べください。なお、修理のご依頼は 14 ページの「アフターサービス」を参照してください。**

| 症　状（状態） | 予想される原因 | 対処のしかた |
|---|---|---|
| **部屋が暖まらない**<br>**※暖房する部屋の諸条件（断熱材や位置など）によって異なります** | サーモスタットの出力レベルが低い | サーモスタットのツマミを右（時計回り）に止るまで回し、出力レベルを最大にしてください。 |
| | ヒーターを、ドア（出入口）付近に置いて使用している | ヒーターの暖気が逃げてしまうので、ドア（出入口）から離した場所に置いて使用してください。また、窓近くで発生するダウンドラフト（冷気の侵入）を防ぐには、窓下付近に置いて使用するのが効果的です。 |
| | ヒーターのラジエター内部にあるオイルが、まだ暖まっていない | オイルが暖まるのに約 30 分～ 1 時間かかるため、事前に電源を入れておいてください。 |
| **内部のオイルが漏れ出している** | 偶発的な不具合 | オイルは難燃性であり発火に至ることはなく、また皮膚に触れても人体に重大な危険を生じさせるものではありませんが、万一オイルが漏出した場合は次のとおりにお取扱いください。<br><br>電源スイッチ下部を押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、漏れ出したオイルをタオルなどで拭き取ってください。必要に応じて窓を開けるなどして換気を行ってください。また、オイルが皮膚に付着した場合はぬるま湯と石鹸で洗浄してください。その後、当社テクニカルセンター（14 ページ参照）にご連絡ください。 |

# これは故障ではありません

## 初期使用時の臭いについて

最初は、新製品特有の臭いを感じることがあります。これは、本体の耐熱塗装が熱になじむまでのことで、機能や安全性に問題はありません。数日ご使用いただきますと、臭いは次第におさまります。

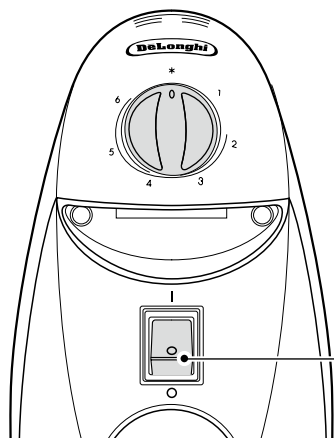
## パチッパチッと音がする

電源を入れると、しばらく、ヒーター内部で天ぷらを揚げる様な音がする場合があります。これは、外気との温度差によって結露が生じ、熱くなったオイルに落ちたときのものです。異常ではありません。

## パネル内の青白い光

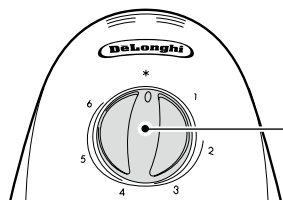
周囲が暗いと、サーモスタットのある操作パネル内部に青白い光が見えることがあります。これはサーモスタットが、自動的に電源を ON ／ OFF する際のもので、故障ではありません。

# 補 足

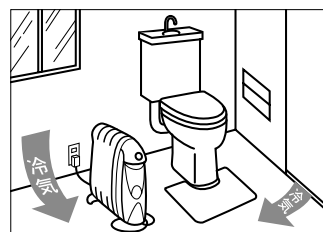
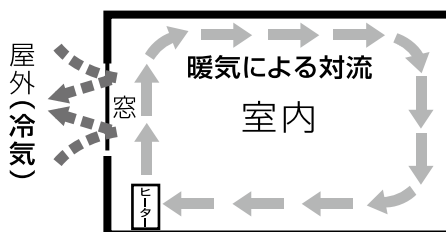
## 凍結防止機能に関して

サーモスタットのツマミを＊マークに合わせ、電源を入れておくことで、凍結防止機能が働きます。室温が 5℃以下になった場合に、室温が約 5℃になるようにヒーターが運転を始めます。
室内の植物等を凍結から保護するために便利な機能です。

室温が5℃以上の場合は、パイロットランプは点灯しません。

# ヒーターの上手な使い方

## 節電対策

サーモスタットを上手に活用することで、ムダな暖め過ぎを防ぎます。お部屋が暖まったら、「出力レベル」を下げるようにしてください。

※ サーモスタットについては、8 ページの操作手順 4「サーモスタットを設定する」を参照してください。

## ダウンドラフト対策：効果的な設置場所

室内で、特に冷気のダウンドラフト（冷気の侵入）が発生しやすい場所＝窓の下や外気に触れている壁際などに設置してください。ヒーターの暖気による“エアカーテン”で、ダウンドラフトの発生を抑えます。また、窓に厚手のカーテンをしたり、ドアの開閉頻度を減らすなどの工夫をすることで、より効果的な暖房が得られます。

# 電源プラグ・コードの安全チェックシート

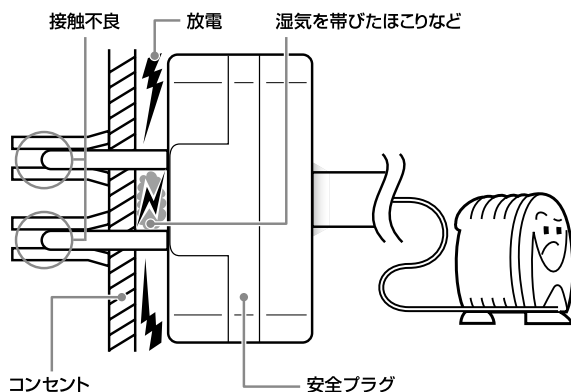
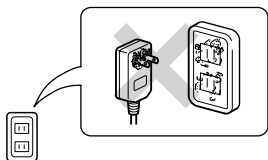
近年、「トラッキング現象」や「電源プラグとコンセントの接触不良」を原因とする火災事故が増加の傾向にあります。製品を正しく、安全にお使いいただくために、下記のチェック項目に従って、使用時だけでなく、定期的に電源プラグ、電源コード、コンセントの点検を行ってください。

**トラッキング現象とは ...**

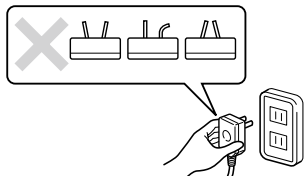
長期間、電源プラグをコンセントに差し込んだままにすると、徐々に電源プラグとコンセントの間にホコリが溜まります。そのホコリに湿気が加わることによって、プラグの両極間に微小の電流が流れます。この状況が長期間続くと、電源プラグの刃と刃の間の樹脂部分（絶縁材）が徐々に炭化し、電気の筋道（導電路：トラック）が作られます。やがて電気の筋道に大量の電流が流れるようになり、最終的にはショート（短絡）して、発火の原因となります。これを「トラッキング現象」といいます。

**電源プラグとコンセントの接触不良に注意しましょう**

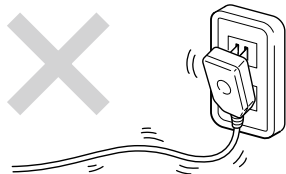
電源コードを引っ張ったり、電源プラグを根元までしっかりとコンセントに差し込まないと、電源プラグとコンセントの接触が不十分な状態（接触不良）で電流が流れることになり、コンセント部が発熱します。この状態のまま放置していると、コンセントの刃受のばね圧力が劣化します。さらに発熱することでアーク現象（空中放電）が発生し、発火の原因となります。

**AC100V**

## ☑ 電源プラグやコンセントにホコリがついていませんか？

電源プラグとコンセントの接触面にホコリや湿気が付着すると、トラッキング現象が発生し、発火の原因になります。

**定期的に、電源プラグやコンセントに付着したホコリを掃除機などで取り除いてください。**

## ☑ 電源プラグが変形していませんか？

曲がった栓刃は、接触不良時の発熱により、コンセントの刃受を変形させる原因となります。

**ペンチなどで手直しをしないで、お求めの販売店または当社テクニカルセンターにプラグの交換をご依頼ください。**

## ☑ コンセントにガタツキはありませんか？

刃受のばね圧力が劣化したコンセントを使用すると、電源プラグと十分な接触が得られず異常発熱し、発火の原因となります。

**コンセントにガタツキや緩みのある場合は、お近くの電気店に修理をご依頼ください。**

## ☑ 電源コードに重いものが載っていませんか？

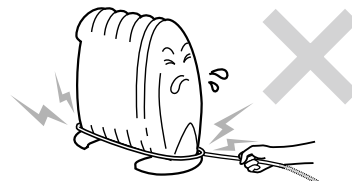
家具等の下敷きになった電源コードは、無理な力が加わり、電源コードの中の細い銅線が断線することがあります。最悪の場合には発火の原因になります。

**電源コードを家具等で踏んだり、壁に押し付けたりしないでください。**

## ☑ 電源コードを束ねたままではありませんか？

ヒーター運転中は電源コードの温度が人の体温程度（約 40℃）になります。電源コードを束ねたままでお使いになると、熱の逃げ場がなくなり、異常発熱し発火の原因になります。

**余った電源コードは残さずスタンドから解き、伸ばしたままお使いください。**

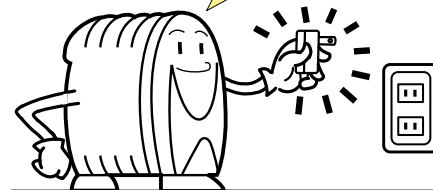
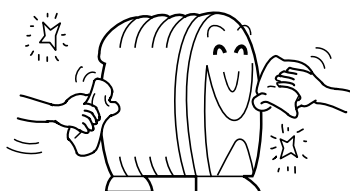
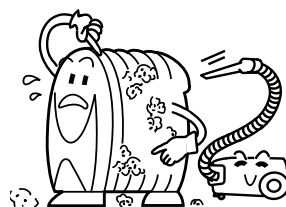
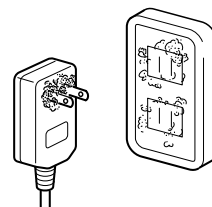
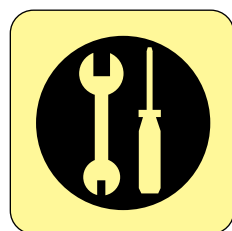
## ☑ 電源コードをスタンドに強く巻きつけすぎていませんか？

電源コードを強く巻きつけると、コードの接続部が傷み、感電やショートの原因になります。

**電源コードをスタンドに強く巻きつけないでください。**

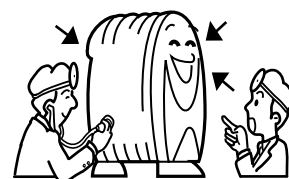
# お手入れ／保管のしかた

お手入れや保管をする場合には、必ず事前に電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行なってください。

水洗いできません。また、洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しないでください。

保管する際は、必ず事前にお手入れをし、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かないでください。

●本体は乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。

●本体および壁と床とのすき間に溜っているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。

●壁面コンセント（刃受）および電源プラグ（栓刃）に付着しているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。

# まごころ点検について

## 長年ご使用のヒーターは、点検をお薦めします。

保証期間（3年）が過ぎて､少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をお薦めします。点検の依頼および料金等につきましては、当社テクニカルセンター（14ページ参照）までお問い合わせください。

# 仕　様

| 項目 | | 内容 |
|---|---|---|
| 製品名称 | | デロンギ オイルヒーター |
| 型式番号 | | TRN0505JS |
| 適用畳数 | | 1～3畳 |
| 定格 | 電圧／周波数 | 交流 100V／50/60Hz |
| | 消費電力 | 500W |
| 外形寸法／質量 | | 長さ 34.5cm ×幅 17.5cm ×高さ 38.0cm／5.3kg |
| 安全装置 | | 転倒時自動電源遮断装置・温度過昇防止装置（本体内）・<br>復帰型温度過昇防止装置（電源プラグ内） |
| 付属品 | | 上手な使い方（冊子） |

# アフターサービス

1〉使用中に異常（★）が生じた場合は、直ちに電源スイッチで電源を切り（＝運転中止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、9 ～ 10 ページ「故障かな？」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（下記参照）にご相談ください。

〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

- 使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- 操作パネルや放熱板に、水やジュース（液体）などをこぼした
- 電源コード、電源プラグが変形／破損している
- 本体に、強い衝撃（転倒・落下）を与えた
- 取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

2〉万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に①**お求めの時期** ②**製品名称と型式番号**③**故障の状況**── を連絡のうえ、修理を依頼してください。
※宅配便等を利用して当社テクニカルセンター（下記参照）に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを同封く　ださるようお願いします。
※お送り先については、事前にお電話、あるいはホームページ（下記参照）にてご確認ください。

3〉保証期間中は、保証書に記載されているものについては無料で修理いたします。ただし、使用上の注意を無視しての故障や規格外に改造したものなどは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有料で修理いたします。

4〉補修用性能部品の保有期間について
当社では、このオイルヒーターの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に 6 年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5〉デロンギ再資源化システムについて：

ご不用になった製品は、下記の要領に従い、当社テクニカルセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。
**送料について：** 再資源化の費用は当社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。
**梱包について：** 製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアーパッキンにくるんでください。
**※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。**
※送り先については、事前にお電話あるいは下記ホームページにてご確認ください。

**以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（下記参照）までお問い合わせください。**

## この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

**欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合（EU）による指令です。**
この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。

**デロンギ・ジャパン テクニカルセンター**（受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30 ～ 17:00）
**コールセンター** Tel.0120-804-280 ／ Fax.045-450-3291
〒335-0033　埼玉県戸田市笹目北町13-13
ホームページでのお問い合わせ(URL) ── **http://www.delonghi.co.jp/support**